

天草市キリシタン資料館 年報

(天草キリシタン館・天草コレジヨ館・天草ロザリオ館)

No.1 【2019年度】



天草キリシタン館



天草ロザリオ館



天草コレジヨ館

2020年 6月

天草市キリシタン資料館管理係

ごあいさつ

平成31年4月1日、天草キリシタン館、天草コレジヨ館、天草ロザリオ館を一体として管理運営するため、キリシタン資料館管理係が設置されました。これは「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録を契機に、世界遺産構成資産である崎津集落を含めた天草のキリシタン史や文化を効果的に情報発信するためになされたものです。3館の運営方針や課題と対応をまとめた実施計画については、令和2年10月策定を目指しています。今後、本実施計画は各館の運営委員会において審議頂き、キリシタン資料館3館として天草市における観光振興、地域振興、更に文化振興、教育振興の役割を果たす道標になると思います。

このような中で、天草キリシタン館は、天草市のゲートウェイとしての役割と天草キリシタン史・文化の概要及び島原・天草一揆について情報発信する必要があり、そのキーワードは「祈り～時空を超えて～」だと考えます。天草コレジヨ館は、キリスト教が展開する中でのコレジヨ設置及び文化交流であり、そのキーワードは「交流～世界に広がる文化の受容～」です。さらに、天草ロザリオ館は禁教政策のなかで信仰を継続した人々の営みを体感する施設であり、そのキーワードは「共生～信仰としなやかな心～」ではないでしょうか。

天草には、キリスト教が布教されてから、展開、弾圧、島原・天草一揆、潜伏、再布教という長く深い歴史が刻まれます。天草市キリシタン資料館は、人々は何を祈り、何を求めたのか、厳しい暮らしのなかで継承した精神を問いかける役割を担っています。このため、各館の特色ある展示と連携した運営を推進して参ります。

3館の共通した課題は、①設置目的と3館の果たすべき役割の明確化、②効率的な管理運営と高品位のサービス提供のための組織検討、③施設管理のための長寿命化計画策定、④収蔵資料の検証・台帳確認、寄託資料の整理、⑤各館の図録作成と特別展の開催、⑥館情報の整理と効果的な発信です。この課題を共有し対応しなければ、館活動や入館者減少に歯止めをかけることはできないでしょう。もちろん、入館者数だけが展示施設の役割を評価する視点ではありませんが、地域で果たすべき役割に鑑みて資料館活動が推進され、財政措置が施される必要があります。

令和元年度は、天草キリシタン史・文化を地域や天草でどのように活用するのか、更に日本や世界に向けて何を発信するのかを考える1年となりました。今年度は天草市のキリシタン資料館3館が、飛躍のために目標・目的を定め実行する年です。今後とも、ご指導賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和2年6月21日

天草市立天草キリシタン館

館長 平田 豊弘

天草市立天草コレジヨ館・天草市立天草ロザリオ館

館長 亀子 敬史

目次

ごあいさつ.....	1
------------	---

【天草キリシタン館】

1. 平成31年度・令和元年度事業報告	7
(1) 展示活動	7
(2) 各機関との連携事業	7
(3) その他	7
(4) 教育普及活動	8
(5) 視察・研修受け入れ	14
(6) 平成31年度・令和元年度来館者動向	15
(7) 天草地域各施設の入館者推移	16
2. 寄贈・購入資料報告	17
(1) 寄贈書籍一覧	17
(2) 購入書籍一覧	18
(3) 寄贈資料一覧	18
3. 天草キリシタン館運営委員会	19
4. 天草キリシタン館職員	19
5. 施設概要	19

【天草コレジヨ館】

1. 平成31年度・令和元年度事業報告	23
(1) 展示活動	23
(2) 各機関との連携事業	23
(3) 教育普及活動	23
(4) 視察・研修受け入れ	24
(5) 平成31年度・令和元年度来館者動向	26
2. 寄贈・購入資料報告	26
(1) 寄贈書籍一覧	26
(2) 購入書籍一覧	26
(3) 寄贈資料一覧	26
3. 天草コレジヨ館運営委員会	27
4. 天草コレジヨ館職員	27
5. 施設概要	27

【天草ロザリオ館】

1. 平成31年度・令和元年度事業報告	31
(1) 展示活動	31
(2) その他	31
(3) 教育普及活動	31
(4) 視察・研修受け入れ	32
(5) 平成31年度・令和元年度来館者動向	33
2. 寄贈・購入資料報告	33
(1) 寄贈書籍一覧	33
(2) 購入書籍一覧	33
(3) 寄贈資料一覧	33
3. 天草ロザリオ館運営委員会	34
4. 天草ロザリオ館職員	34
5. 施設概要	34

【資料】

1. 天草市キリシタン資料館 入館者数動向分析	35
2. 天草市キリシタン資料館 課題抽出	49

天草キリシタン館

(平成 31 年度・令和元年度報告)

1. 平成31年度・令和元年度事業報告【天草キリシタン館】

(1) 展示活動

国指定文化財「綸子地著色聖体秘蹟図指物」公開

公開日：令和元年5月1日～7日、8月1日～7日、11月1日～7日、令和2年3月1日～7日

「産官学連携事業」展示入れ替え（熊本大学安高啓明研究室）

期 日：令和元年7月22日、12月22日、令和2年3月25日

(2) 各機関との連携事業

4月1日～3月31日	島鉄観光株式会社「天草グルメとキリシタン文化を巡る旅」協力 ※入館料減額
4月1日～3月31日	リメンバー九州キャンペーン協力 ※入館料減額
9月19日～11月10日	くまもと文学・歴史館世界文化遺産登録1周年記念企画展「祈りの島 天草とその海」資料貸出【鶴田一郎作「天草四郎 祈り」：1点、踏絵（レプリカ）：1点】
9月21日～11月24日	大分県立埋蔵文化財センター企画展「宗麟とキリスト教ー地中に眠るキリシタンの時代ー」資料貸出【19世紀真鍮製メダイ：2点】
11月11日～11月17日	世界糖尿病デー「ブルーライトアップ」協力
1月6日～3月31日	九州産交ツーリズム株式会社「冬の天草☆満喫キャンペーン」協力 ※入館料減額

(3) その他

館報6号（平成30年度報告）発行

新天皇即位礼正殿の儀慶祝事業に伴う

無料公開実施

日 時：令和元年10月22日

新年来館者プレゼント配付

期 間：令和2年1月2日～3日

文化財防火デー消防・防災訓練実施

日 時：令和2年2月19日



新年来館者プレゼント
（キーホルダー / オリジナルノート）



文化財防火デー消防・防災訓練

(4)教育普及活動

◎体験学習

【天草キリシタン館】

小・中学生向け体験学習「わくわく歴史探検隊」

目 的：令和元年11月1日～7日までの国指定文化財「綸子地著色聖体秘蹟図指物（天草四郎陣中旗）」の公開に併せ、市内の小・中学生を対象に天草キリシタン館見学と周辺の史跡探索を実施し、島原・天草一揆を中心としたキリスト教の歴史についての周知を図る。

日 時：令和元年11月3日（日）

行 程：以下のとおり。

8:30 天草キリシタン館集合

8:35 天草キリシタン史説明・陣中旗見学

9:00 キリシタン史跡探検（館周辺探索・プラ板キーホルダー作成）

10:30 閉会、解散

参加者：26名



◎講演会

令和元年度天草キリシタン館歴史講演会

日 時：令和2年2月2日(日)

場 所：五和町コミュニティセンター大会議室

講 師：大石 一久 氏(株式会社オリエントアイエヌジー顧問)

演 題：「ペーが墓、岩宗のキリシタン墓碑群調査報告」

松本 博幸 氏(天草市観光文化部文化課学芸員)

演 題：「天草のキリシタン墓碑概要について」

参加者：100名

内 容：天草キリシタン館では、キリシタン史跡調査事業として五和町のペーが墓や岩宗のキリシタン墓碑群の調査を実施。その調査の報告として、今回の講演会を開催した。当日は、前キリシタン館職員であり、調査事業に長年携わってきた天草市観光文化部文化課の松本博幸学芸員に、天草に点在するキリシタン墓碑についての概要を、当調査の指導や報告書の執筆をしていただいた大石一久氏に、成果報告と天草のキリシタン墓碑の特徴についてご講演いただいた。活発な質疑応答となり、天草のキリシタン史や墓碑に対する市民の関心の高さがうかがえた。



天草キリシタン館歴史講演会のようす
(五和町コミュニティセンター大会議室)

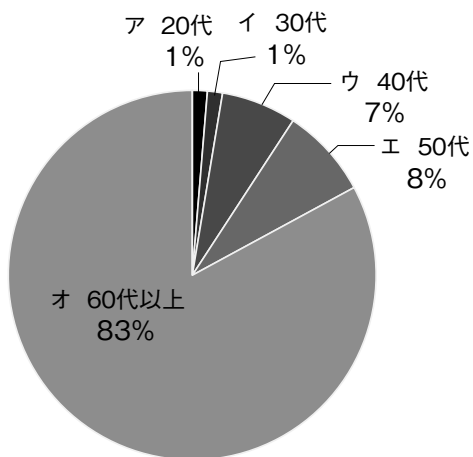
・天草キリシタン館歴史講演会アンケート集計結果

今回の講演会ではアンケートの回答にご協力いただいた。以下は各集計結果である。

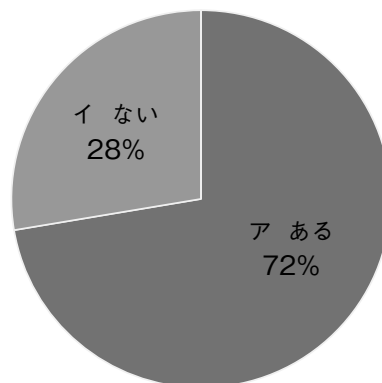
(回答者76名)

01. 差支えない範囲でご年齢をお聞かせください。

02. 平成22年のリニューアル後キリシタン館に来館されたことはありますか。

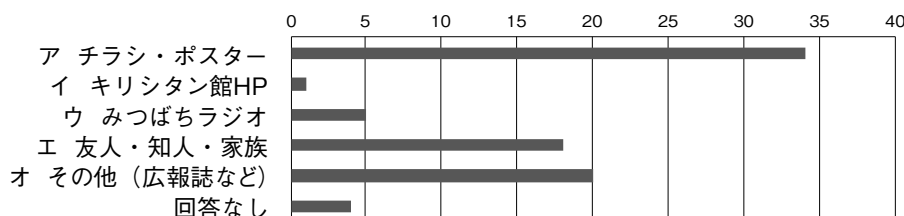


ア 20代	イ 30代	ウ 40代	エ 50代	オ 60代以上	回答なし
1	1	5	6	63	0



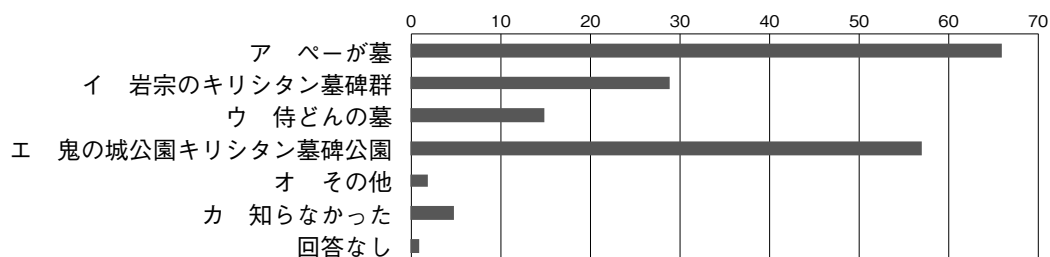
ア ある	イ ない	回答なし
55	21	0

03. この講演会の開催をどこでお知りになりましたか？（複数回答可）



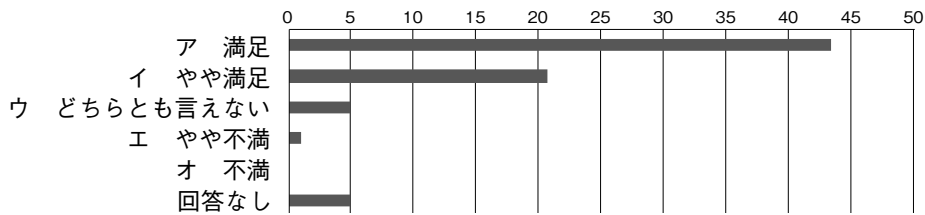
ア チラシ・ポスター	イ キリシタン館 HP	ウ みつばちラジオ	エ 友人・知人・家族	オ その他(広報誌など)	回答なし
34	1	5	18	20	4

04. 五和町にある次のキリシタン墓碑について知っていましたか？知っていたものすべてに丸をつけてください。（複数回答可）



ア ペーが墓	イ 岩宗のキリシタン墓碑群	ウ 侍どんの墓	エ 鬼の城公園キリシタン墓碑公園	オ その他	カ 知らなかった	回答なし
66	29	15	57	2	5	1

05. 講演会の感想について教えてください。



ア 満足	イ やや満足	ウ どちらとも言えない	エ やや不満	オ 不満	回答なし
44	21	5	1	0	5

その理由についてお聞かせください。

- とても詳しくわかりやすい講演でした。ありがとうございました。
 - 五和町も潜伏キリシタンであったことに驚きました。もっと勉強していきたいと思います。
 - 一揆勢と潜伏キリシタンの性格の違いについてなるほどと思いました。五和町のキリシタン墓の多さに驚きました。今後の調査に興味があります。
 - 潜伏キリシタン勢と天草一揆勢との考え方の違いについての考察は面白いです。
 - キリシタン墓碑の 1000 基という数があらかず意味、重大性、資産的価値に気づかせていただき、天草島民としてはうれしく思います。また、天草島原の乱、潜伏キリシタンに関する大石先生の見解も面白く拝聴しました。ただ、画像が小さくて見にくいところがあり残念でした。
 - 配布資料とパワーポイントが別々だったので、パワーポイントの紙資料も欲しかった。
- ・・・など

06. 今後開催してほしい講演会のテーマや知りたいことなど、ご要望がありましたらお聞かせください。

- 天草くずれについて講演してほしい。
 - 今回のような潜伏キリシタンについてのテーマを求めます。
 - 現地学習会をやってほしい。
 - 1000基もの墓碑の分布の様子、可能であれば発掘調査が行われると良いなと思います。
 - 今後の研究の成果をいずれかまた発表してほしい。
 - 墓碑についての新たな発見等あれば聞きたい。
 - キリシタン一揆勢が集結した上津浦城跡の発掘調査の報告はできないか。
 - 天草四郎の研究がどこまで進んでいるのか。
 - 沖の原遺跡についてもっと知りたいと思います。
 - 旧五和町内の古城について。久玉城について。
- ・・・など

◎博物館実習生受け入れ

期 間：令和元年8月17日～30日 ※19日と26日は休み
(天草キリシタン館での実習は21日、30日の2日間)

実習生：青山学院大学文学部史学科4年生 1名
京都女子大学文学部史学科4年生 1名
崇城大学芸術学部デザイン学科4年生 1名 計3名

内 容：天草キリシタン館での実習内容は下記のとおり。

天草キリシタン史や世界遺産登録について
情報・アーカイブズ・資料台帳の管理について
資料の取り扱いについて
資料調査の模擬体験（運搬、清掃、写真撮影、測定、記入）
虫トラップチェック
「わくわく歴史探検隊」チラシ作成
展示室の案内体験 など



博物館実習（8月30日）



「わくわく歴史探検隊」チラシ

◎インターンシップ・職場体験受け入れ・専門大学グローバル現地学習

インターンシップ・職場体験

・期 間：令和元年9月18日～20日

実習生：天草市立本渡中学校2年生 3名

・期 間：令和元年10月29日～11月1日

実習生：熊本県立天草工業高等学校 情報技術科2年生 2名

内 容：天草キリシタン館での体験内容は下記のとおり。

天草キリシタン史や世界遺産登録について
資料の取り扱いについて
展示室の案内体験
清掃作業 など

専門大学グローバル現地学習

・期 間：令和元年10月7日～9日

実習生：韓国忠清大学校実習生 1名

内 容：受付・案内業務体験など。



本渡中学校職場体験のようす



天草工業高等学校インターンシップ体験のようす

◎市内小中学生見学受け入れ

平成31年度・令和元年度 6校 247人（述べ 9回、引率者を含む）

6月17日	天草市立本渡北小学校	11月6日	天草市立河浦中学校
6月18日	天草市立本渡北小学校	12月6日	天草市立本渡南小学校
6月20日	天草市立本渡北小学校	12月12日	天草市立有明中学校
6月27日	天草市立本渡北小学校	1月23日	天草市立新和中学校
9月13日	天草市立天草中学校		

(5)視察・研修受け入れ

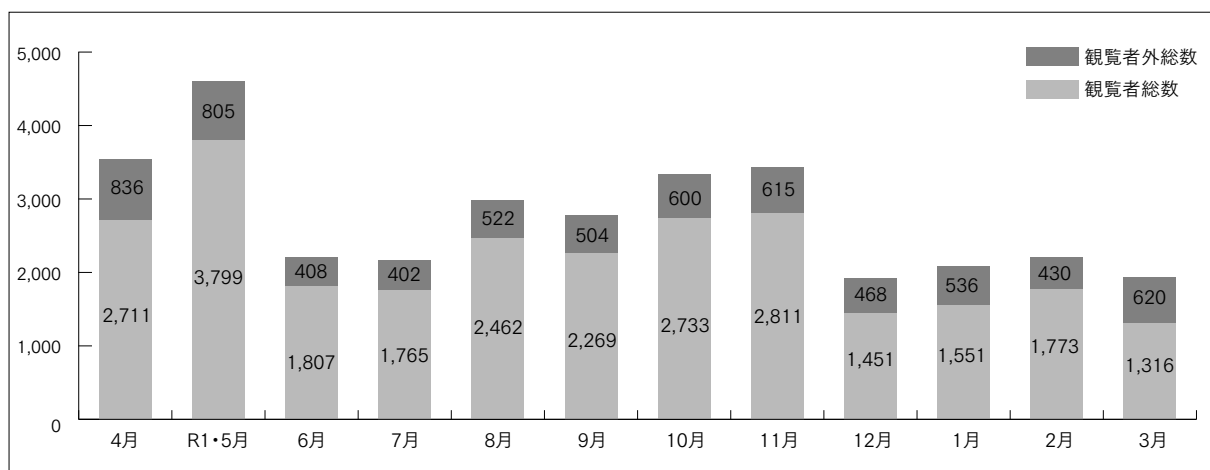
平成31年度・令和元年度 34件 253人

4月	15日	熊本県広域本部講演会講師 昭和女子大学総長 坂東眞理子氏視察
	16日	天草・日本ポルトガル協会大分・日本ポルトガル協会視察
	16日	熊本県文化企画・世界遺産推進課新任者視察
	26日	熊本日日新聞社取材
5月	10日	みやき町議会議員及びみやき町役場執行部視察研修
	13日	天草宝島観光協会 HIS ツアー下見
	24日	天草市役所秘書課取材
	29日	天草市役所秘書課取材
6月	4日	西鉄観光バス株式会社新人バスガイド研修
	16日	ボーイスカウト八代第3団研修
7月	1日	祐徳自動車株式会社新人バスガイド研修
	5日	韓国忠清大学ホームステイ派遣団視察
	8日	リスボン大学アレキサンドラ教授視察
	9日	天草四郎ミュージアム視察
	16日	下関市立美術館視察
	16日	長崎ラッキーバス株式会社バスガイド研修
	24日	長崎県文化観光国際部長及び長崎県世界遺産課職員視察
	30日	広島県立加計高等学校旅行下見
	30日	名鉄観光サービス株式会社神戸女学院高等学部修学旅行下見
	31日	天草市教育委員会教員研修
8月	9日	天草市教育委員会教員研修
	20日	株式会社日本旅行田園調布学園高等部修学旅行下見
	25日	JA ふくおか八女女性部下見
	28日	ラブ・ソナタ日本本部視察
	30日	関西学院中学部修学旅行下見

9月	5日	西肥自動車株式会社バスガイド研修
10月		受入なし
11月	14日	津市議会行政視察
12月	7日	熊本県文化協会研修下見
	10日	郵船トラベル他クルーズ船オプションツアー視察
1月	15日	堀川観光バス新人バスガイド研修
	22日	九州産交ツーリズム株式会社下見
	23日	熊本県天草市立新和中学校ふるさと体験学習
2月	27日	株式会社テムジン取材
3月	4日	FAM トリップフィリピンツアー下見

(6)平成31年度・令和元年度来館者動向

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	一般	1,755	2,544	899	1,111	1,810	1,682	1,793	2,031	1,119	1,159	1,235	1,067	18,205
	高校生	20	37	2	8	41	7	0	7	8	10	6	25	171
	小・中学生	94	169	13	85	233	40	28	18	49	39	18	67	853
団体	一般	676	569	635	325	187	427	389	440	133	223	389	60	4,453
	高校生	0	178	0	39	0	0	161	112	0	0	0	0	490
	小・中学生	5	0	5	14	7	0	0	36	0	0	0	0	67
無料	一般	138	284	110	162	157	85	349	140	61	76	104	73	1,739
	高校生	7	2	0	7	3	1	2	2	1	1	0	3	29
	小・中学生	16	16	143	14	24	27	11	25	80	43	21	21	441
観覧者総数		2,711	3,799	1,807	1,765	2,462	2,269	2,733	2,811	1,451	1,551	1,773	1,316	26,448
観覧者外総数		836	805	408	402	552	504	600	615	468	536	430	620	6,776
来館者総合計		3,547	4,604	2,215	2,167	3,014	2,773	3,333	3,426	1,919	2,087	2,203	1,936	33,224

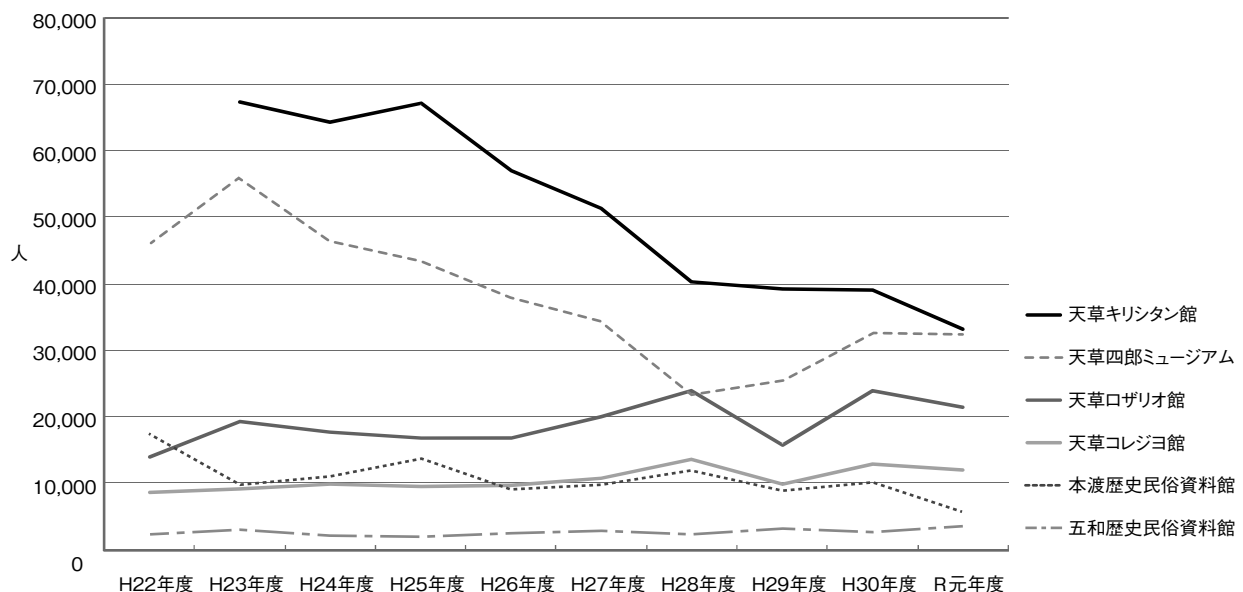


(7)天草地域各施設の入館者推移

・各施設入館者推移

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
天草キリシタン館		67,323	64,321	67,169	56,986	51,287	40,308	39,288	39,008	33,224
天草ロザリオ館	13,961	19,338	17,765	16,808	16,756	19,983	24,004	15,814	23,848	21,478
天草コレジヨ館	8,667	9,243	9,900	9,543	9,770	10,738	13,580	9,798	12,922	12,024
本渡歴史民俗資料館	17,699	10,111	11,304	13,973	9,300	10,054	12,161	9,161	10,486	6,053
五和歴史民俗資料館	2,533	3,251	2,494	2,232	2,735	3,117	2,606	3,408	2,963	3,915
天草四郎ミュージアム	46,313	56,132	46,631	43,678	38,216	34,606	23,612	25,710	32,789	32,733

※天草キリシタン館入館の平成 22年度入館者数につきましては7/1リニューアルOPENのため、割愛しています。



地区・区分		平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	
天草市	宿泊客数	274,606	275,777	285,441	259,771	280,939	
	日帰客数	2,634,702	2,725,007	2,430,468	2,435,737	-	
	総入込客数	2,909,308	3,000,784	2,715,909	2,695,508	-	

(人) R1 年天草市統計書

■グラフから読み取れる背景(天草キリシタン館)

平成28年度の熊本地震後、8/6～12/4間の約4ヵ月間において入館料を無料とした施設は、おおむね前年を上回っている(天草四郎ミュージアムは無料期間なし)。一方、天草キリシタン館においては無料としたにも関わらず無料期間を設けていない天草四郎ミュージアム同様の減少が見られる。特に平成25年度以降の減少率と天草市への観光客数の推移を鑑みると、天草市を訪れても入館しない来館者の存在が伺える。しかし天草キリシタン館の平成23～25年度の入館者数から他施設と比較してもそのポテンシャルが高いことは表れており、昨今の減少傾向については天草キリシタン館へのリピーターの減少が要因と思われる。

2. 寄贈・購入資料報告

(1) 寄贈書籍一覧

書籍名	寄贈者
見るだけ日本史年表	株式会社宝島社 第一書籍局第一編集部 指吸 春菜
長崎歴史文化博物館 研究紀要 2018 第 13 号	長崎歴史文化博物館館長 水嶋英治
図解 面白いほどよくわかる! 日本史	株式会社西東社 商品管理部/商品戦略室 原 俊太郎
御船町文化財調査報告 第 6 集 小坂大塚古墳	御船町教育委員会 教育長 本田 惠典
館報 2018 67 ANNUAL REPORT	公益財団法人石橋財団ブリヂストン美術館
世界文化遺産 原城跡	南島原市長 松本 政博
百万人の福音	いのちのことば社「百万人の福音」編集部 砂原 俊幸
日本 100 名城 大分府内城	大分市歴史資料館 館長 武富 雅宣
社会科資料集	株式会社 光文社
関西大学東西学術研究所研究叢刊 57 西教東漸と中日事情 ー 拝礼・尊厳・信念をめぐる文化交渉ー	関西大学文学部教授・東西学術研究所研究員 陶 徳民
毎日が発見 2019 年 6 月号	株式会社毎日が発見 『毎日が発見』編集部
大分市歴史資料館ニュース Vol.118.119.120	大分市歴史資料館
ビッグ・コロタン 167 ドラえもん社会ワールド ーなぜ? どうして? 日本の歴史ー	株式会社小学館 第二児童学習局 島田 浩志
別冊旅の手帖 熊本	株式会社交通新聞社 編集人 加川 淳二
西南大学博物館ニュース vol.37 エステ家アルフォンソ I 世の聖務日課	西南学院大学博物館
「天草小唄」横田良一物語	山下 義弘
天草島原一揆後を治めた代官 鈴木重成	株式会社 弦書房 小野 静男
創館 30 周年記念誌 博多湾物語	公益財団法人 亀陽文庫 能古博物館
熊本博物館 館報 No. 31 (2018 年度報告)	熊本博物館
総合文化史 KUMAMOTO くまもと 季刊 No.28 2019 年 9 月	崇城大学芸術学部 関根 浩子
西南大学博物館ニュース vol.38 特集: 旧約全書	西南学院大学博物館 館長 宮崎 克則
西南学院大学博物館研究叢書 明治日本とキリスト教 Christianity in the Meiji Period 時かれた種	西南学院大学博物館 館長 宮崎 克則
令和元年度企画展大友氏の栄華III 宗麟とキリスト教 ー地中に眠るキリシタンの時代ー	大分県立埋蔵文化財センター
大分のキリスト教史	豊野国情報ライブラリー 大分県立先哲史料館
令和元年度秋季特別展覧会 八代の歴史と文化 29 ものふと茶の湯 利休から織部・忠興・康之へ	八代市立博物館未来の森ミュージアム
第六十六回日本伝統工芸展	福岡県教育庁教育総務局文化財保護課
キッズベディア 歴史館 日本史の重大事件 そのとき世界は	小学館第二児童学習局 学習まんが・百科 『キッズベディア歴史館』編集部
第 20 回ドキュメンタリーフォトフェスティバル宮崎	ドキュメンタリーフォトフェスティバル宮崎 実行委員会事務局長 永友啓一郎
西南大学博物館ニュース vol.39 特集: 長崎唐人屋敷騒動鎮圧図	西南学院大学博物館 館長 宮崎 克則
抜萃のつゞり その七十九	株式会社熊平製作所 会長 熊平雅人

書籍名	寄贈者
天草陶磁の旗手 高浜焼 波濤を越えた挑戦	天草市観光文化部文化課
平成30年度 肥後古代の森協議会活動報告	肥後古代の森協議会
南島原市文化財調査報告書第17集 東石原遺跡	南島原市教育委員会
世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」登録記念記録誌（DVD 付属）	長崎県世界遺産課長
宗像市文化財調査報告書 第77集 光岡辻ノ園Ⅱ 光岡辻ノ園遺跡第3次発掘調査報告	宗像市教育委員会 教育長 高宮史郎
宗像市文化財調査報告書 第78集 赤間宿跡 福岡県宗像市赤間所在の発掘調査報告書	宗像市教育委員会 教育長 高宮史郎
令和元年度 海の道むなかた館特別展 あなたの知らない地図の世界 Hi!! 地図 ハイ!ちへず	宗像市教育委員会 教育長 高宮史郎
宗像市文化財年報 むなかたの文化財 平成28・29年度文化財保護事業	宗像市教育委員会 教育長 高宮史郎
令和元年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」実施報告書 博物館が、人を育てる。	「博物館と医療・福祉のよりよい関係づくり」の構築に向けた博物館マネジメント人材育成事業実行委員会
原史料で綴る天草島原の乱	天草市総務部秘書課

(2)購入書籍一覧

書籍名	購入
天草島民俗誌	
海鳴りの果てに～天草海外発展史 前編～	
天草の史跡文化遺産	舒文堂河島書店
明智一族 三宅家の資料	

(3)寄贈資料一覧

資料名	数量	寄贈者	寄贈日
木彫布木目込人形「希望（のぞみ）」	1	森 禎子	12月9日
木彫布木目込人形「天啓（てんけい）」	1		



「希望（のぞみ）」



「天啓（てんけい）」

天草キリシタン館運営委員会

平成31年度・令和元年度

委員長 亀子 研二

副委員長 歳川 喜三生

委員 赤木 聖一 池田 真理子 野崎 啓子 宮崎 敬士 安高 啓明

天草キリシタン館職員

平成31年度・令和元年度

係長（キリシタン資料館管理係） 亀子 敬史

学芸員（ 同上 ） 稲津 貴久

館 長（特別職） 平田 豊弘

学 芸 員（非常勤） 立石 綾

事 務 職 員（非常勤） 原田 留理子 坂本 みゆき 明瀬 純一 中上 あずさ

本田 稔 松本 眞由美 宗像 秀明

（以上全て敬称略）

施設概要

構 造 RC 地上2階建（昭和41年8月1日開館、平成22年7月1日リニューアルオープン）

施設面積 1階383.91m² 2階613.87m²

開館時間 8時30分～17時00分（最終入館16時30分）※平成31年4月より。

休 館 日 12月30日、31日、1月1日（年間開館日数362日）

※令和2年4月1日より火曜日が休館となります。（祝日の場合翌平日）



1階 エントランス



2階 展示室

天草コレジヨ館

(平成 31 年度・令和元年度報告)

1. 平成 31 年度・令和元年度事業報告【天草コレジヨ館】

(1) 展示活動

天草、長崎キリシタン遺跡写真展「天草と長崎外海の潜伏キリシタン」

期 間：令和元年6月1日～9月1日

天草、長崎キリシタン遺跡写真展「長崎生月島の潜伏キリシタン」

期 間：令和元年11月2日～令和2年2月2日

(2) 各機関との連携事業

4月1日～3月31日	島鉄観光株式会社「天草グルメとキリシタン文化を巡る旅」協力 ※入館料減額
9月19日～11月10日	くまもと文学・歴史館 世界文化遺産1周年記念企画展「祈りの島 天草とその海」資料貸出【肥後天草之図（松浦四郎氏蔵）：1点、天 草本 伊曾保物語（複製本）：1点、崎津村絵図：1点】
1月6日～3月31日	九州産交ツーリズム株式会社「冬の天草☆満喫キャンペーン」協力 ※入館料減額

(3) 教育普及活動

◎体験学習

「平和学習」工作体験

（ユラユラ揺れる～くらげのフォトクリップを作ろう!!）

日 時：令和元年8月4日（日） 13時30分～16時

講 師：造形作家 gaju（本名 松岡志保氏）

参加者：13名（幼児含む）



くらげのフォトクリップ完成品

「天草本」活字鑄造・活字印刷 実演、体験

日 時：令和元年9月19日(木) 12時30分～13時45分

講 師：西村 洋信 氏 (天草コレジヨ館運営委員)

参加者：鹿児島国際大学 国際文化学部国際文化学科 学生25名



◎市内小中学生見学受け入れ

平成31年度・令和元年度 8校 283人(述べ 8回、引率者を含む)

7月10日	天草市立綾南中学校	9月13日	天草市立天草中学校
7月16日	天草市立牛深東中学校	10月30日	天草市立河浦小学校
8月 5日	天草市立天草小学校	11月 7日	天草市立栖本中学校
9月 3日	天草市立本渡東中学校	1月23日	天草市立新和中学校

(4)視察・研修受け入れ

平成31年度・令和元年度 27件 198人

4月	3日	明治大学付属高校修学旅行下見
	3日	宇和島自動車観光課下見
	13日	市平老人クラブ下見
5月	26日	浦河町まちづくり視察
6月	6日	北薩・天草広域観光推進協議会視察
	10日	天草ケーブルTV特別展取材
	19日	天草市産業政策課視察研修

7月	9日	天草四郎ミュージアム研修
	22日	天草市社会福祉協議会視察研修
8月	5日	天草少年消防クラブ視察研修
	13日	鹿児島国際大学視察
	22日	めぐみ保育園学童クラブ
	22日	天草広域本部研修
	27日	天草郡市小中学校（事務職員会）研修
9月	25日	韓国、忠清大学見学
10月	15日	韓国、忠清大学研修
11月	24日	北海道アイヌ保存会見学
12月	8日	福岡女学院研修
	11日	日本丸寄港視察団
	13日	JTBコミュニケーション外国メディア
	17日	NP TOUR（韓国）下見
1月	9日	浦河町まちづくり研修
2月	6日	JTBプランニング取材撮影
3月	5日	BSNHK 取材撮影
	6日	BSNHK 取材撮影
	15日	日本通訳士下見
	18日	福岡女学院研修

○北海道浦河町町づくり協議会来館

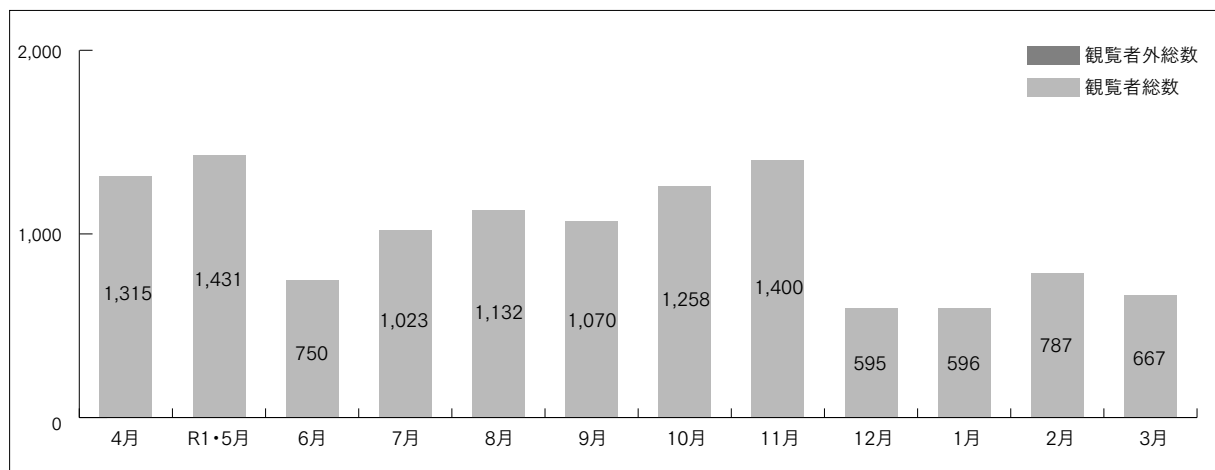
令和2年1月9日（木）、地域交流の一環として河浦町と友好提携都市である北海道浦河町から15名の来館を頂きました。



北海道浦河町町づくりの皆さま

(5)平成31年度・令和元年度来館者動向

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	一 般	984	1,047	449	594	754	690	864	1,001	395	381	519	458	8,136
	高校生	10	6	1	2	14	5	1	0	3	1	2	6	51
	小・中学生	38	34	5	27	72	8	3	3	6	5	3	17	221
団体	一 般	27	123	110	65	6	143	91	169	30	4	46	3	817
	高校生	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	小・中学生	0	2	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	27
無料	一 般	256	219	185	190	238	169	264	207	161	177	217	183	2,466
	高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小・中学生	0	0	0	117	48	55	35	20	0	28	0	0	303
観 覧 者 総 数		1,315	1,431	750	1,023	1,132	1,070	1,258	1,400	595	596	787	667	12,024
観覧者外総数														
来館者総合計		1,315	1,431	750	1,023	1,132	1,070	1,258	1,400	595	596	787	667	12,024



2. 寄贈・購入資料報告

(1)寄贈書籍一覧

書籍名	寄贈者
該当なし	

(2)購入書籍一覧

書籍名	購入
該当なし	

(3)寄贈資料一覧

資料名	数量	寄贈者	寄贈日
該当なし			

天草コレジヨ館運営委員

平成31年度・令和元年度

委員長 川崎 富人

副委員長 玉木 譲

委員 森田 哲雄 田中 新作 松岡 志保 山下 真奈美 西村 洋信

天草コレジヨ館職員

平成31年度・令和元年度

館長（係長） 亀子 敬史

学芸員 稲津 貴久

事務職員（非常勤） 上口 浩子 小崎 弘幸 福岡 拓文 八谷 小百合

丸山 淳 梅田 いづ子

（臨時職員） 西嶋 純子

（以上全て敬称略）

施設概要

構造 RC 一部2階建（昭和62年3月25日新築、平成2年5月12日開館）

施設面積 1階883.10㎡ 2階501.30㎡

開館時間 8時30分～17時00分（最終入館16時30分）

休館日 12月30日、31日、1月1日（年間開館日数362日）

※令和2年4月1日より木曜日が休館。（祝日の場合翌平日）



1階 エントランス



1階 展示室

天草ロザリ才館

(平成 31 年度・令和元年度報告)

1. 平成 31 年度・令和元年度事業報告【天草ロザリオ館】

(1) 展示活動

天草・長崎キリシタン遺跡写真展「島原天草一揆とキリシタン王国島原半島」

期 間：令和元年6月1日～9月1日

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」世界文化遺産登録企画展「長崎五島の潜伏キリシタン」

期 間：令和元年11月2日～令和2年2月2日

(2) その他

大江クリスマスイルミネーション

期 間：令和元年12月2日～令和2年1月6日 17時30分～22時

場 所：天草ロザリオ館周辺

アカペラコンサート

日 時：令和元年12月24日 18時～19時

場 所：天草ロザリオ館映像ホール



クリスマスイルミネーション

(3) 教育普及活動

◎講演会

崎津集落世界遺産1周年記念事業 天草・長崎キリシタン講演会
「長崎生月島のキリシタン ―オラシヨの祈り―」

日 時：令和2年2月16日(日)

場 所：天草ロザリオ館映像ホール

講 師：中園 成生 氏

(平戸市生月町博物館・島の館学芸員)

演 題：「生月島のキリシタンの歴史と
現在に続く祈り」

< オラシヨの実演 >

平戸市生月壱部地区

隠れキリシタン信者のみなさま



天草・長崎キリシタン講演会のようす
(天草ロザリオ館映像ホール)

◎市内小中学生見学受け入れ

平成31年度・令和元年度 10校 236人（延べ10回引率者を含む）

7月16日	天草市立牛深東中学校	11月21日	天草市立倉岳小学校
9月27日	天草市立栖本小学校	11月21日	天草市立天草小学校
9月13日	天草市立天草中学校	12月10日	天草市立本町小学校
10月30日	天草市立河浦小学校	12月12日	天草市立有明中学校
11月7日	天草市立栖本中学校	1月23日	天草市立新和中学校

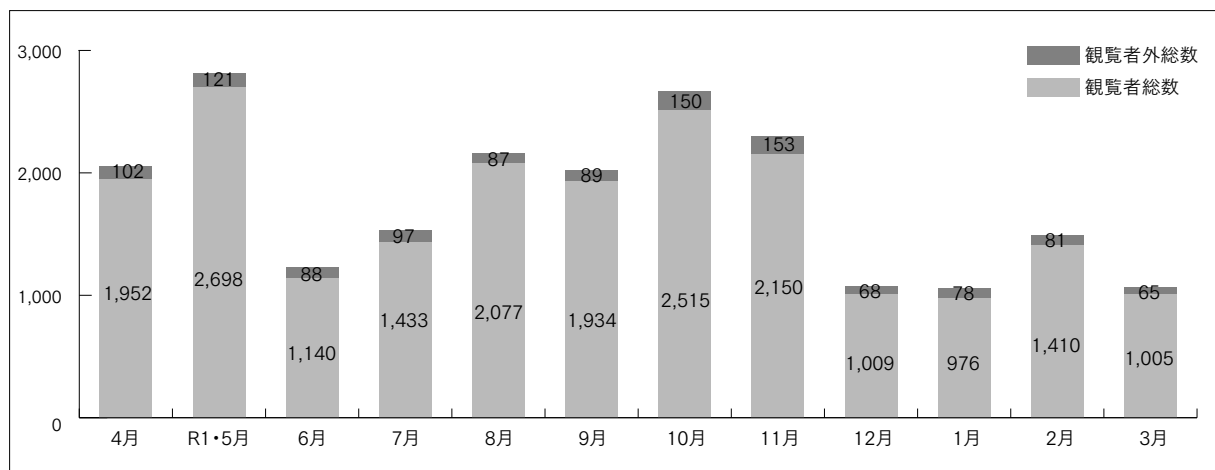
(4)視察・研修受け入れ

平成31年度・令和元年度 15件 245人

4月	9日	熊本県文化企画・世界遺産推進課視察
5月	13日	天草宝島観光協会 旅行会社 HIS 下見
6月		受入なし
7月	9日	天草四郎ミュージアム視察
	16日	ラッキーバスガイド研修
	22日	天草市社会福祉協議会五和支所視察研修
	23日	長崎県文化観光国際部長及び長崎県世界遺産課職員視察
	31日	天草市教育委員会教員研修
8月	9日	天草市教育委員会教員研修
	30日	天草市観光振興課関西学院中学部修学旅行下見
9月	7日	天草市文化課 天草レキバナ会
	19日	鹿児島国際大学国際文化学部日本語ゼミナール研修
	22日	大江地域づくり振興会
	29日	都市計画課大江教会周辺整備検討会研修
10月		受入なし
11月		受入なし
12月	11日	郵船トラベルクルーズ船オプションツアー視察
1月		受入なし
2月	18日	河浦町白木河内老人会
3月		受入なし

(5)平成31年度・令和元年度来館者動向

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	一般	1,655	2,402	974	1,056	1,603	1,599	1,836	1,572	738	792	801	761	15,789
	高校生	18	25	2	7	42	5	3	1	4	4	7	17	135
	小・中学生	72	93	9	53	200	18	18	7	22	31	11	33	567
団体	一般	98	87	62	84	26	113	319	200	0	0	89	0	1,078
	高校生	0	0	0	39	0	0	0	202	0	0	0	0	241
	小・中学生	0	0	32	4	3	0	0	0	0	0	0	0	39
無料	一般	80	58	49	142	129	199	289	45	93	108	442	162	1,796
	高校生	0	1	0	0	6	0	0	33	0	0	0	4	44
	小・中学生	29	32	12	48	68	0	50	90	152	41	60	28	610
観覧者総数		1,952	2,698	1,140	1,433	2,077	1,934	2,515	2,150	1,009	976	1,410	1,005	20,299
観覧者外総数		102	121	88	97	87	89	150	153	68	78	81	65	1,179
来館者総合計		2,054	2,819	1,228	1,530	2,164	2,023	2,665	2,303	1,077	1,054	1,491	1,070	21,478



2. 寄贈・購入資料報告

(1)寄贈書籍一覧

書籍名	寄贈者
該当なし	

(2)購入書籍一覧

書籍名	購入
該当なし	

(3)寄贈資料一覧

資料名	数量	寄贈者	寄贈日
該当なし			

天草ロザリオ館運営委員

平成31年度・令和元年度

委員長 濱名 正光

副委員長 田崎 茂子

委員 松浦 四郎 毛利 淳子 浦口 文和 塚原 三広 田中 光徳

天草ロザリオ館職員

平成31年度・令和元年度

館長（係長） 亀子 敬史

学芸員 稲津 貴久

事務職員（非常勤） 出永 美喜男 江浦 信子 宮崎 美根子 住友 理恵

齋藤 幸子

（以上全て敬称略）

施設概要

構造 RC 地上一部2階建（昭和63年4月23日開館）

施設面積 1階482.55㎡ 2階129.17㎡ 計611.72㎡

開館時間 8時30分～17時00分（最終入館16時30分）

休館日 12月30日、31日、1月1日（年間開館日数362日）

※令和2年4月1日より水曜日が休館となります。（祝日の場合翌平日）



1 階 展示ホール



1 階 映像ホール

天草市キリシタン資料館 入館者数動向分析



天草コレジヨ館



天草キリシタン館

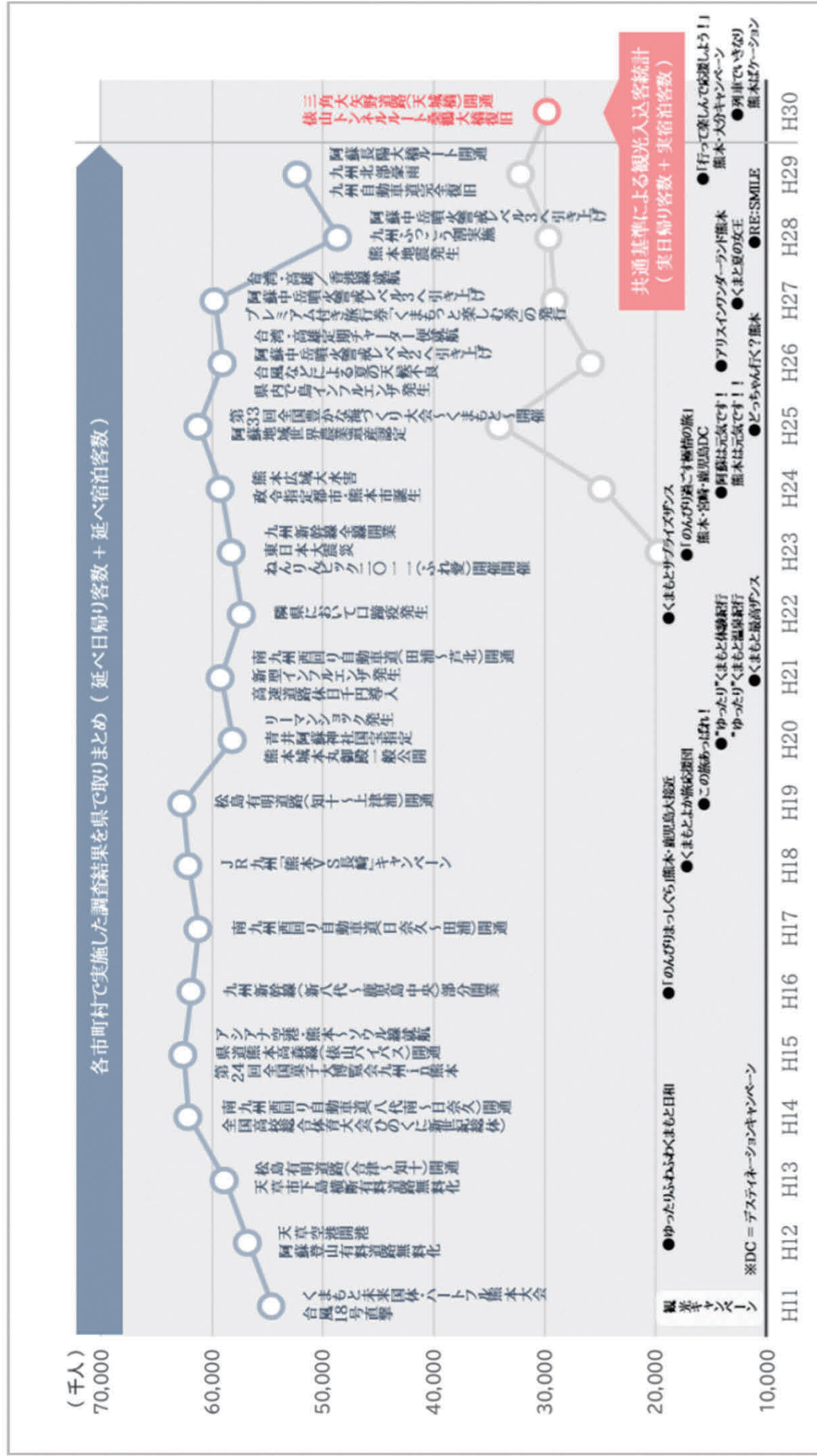


天草ロザリオ館

文化課キリシタン資料館管理係

2020.3.31

熊本県への観光客数の推移



H30年熊本県観光統計

キリンシタン資料館管理係

天草と他地域への観光客数の推移①

■ 過去10年の地域別観光客数

地域	区分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
天草地域	延べ日帰り客	3,430,893	3,826,505	3,790,518	3,858,616	3,890,996	3,898,055	4,052,312	3,824,222	3,924,781
	延べ宿泊客	545,414	513,421	525,288	561,240	543,380	520,592	539,489	601,690	513,856
	計	3,976,307	4,339,926	4,315,806	4,419,856	4,434,376	4,418,647	4,591,801	4,425,912	4,438,637
阿蘇地域	延べ日帰り客	15,350,625	15,463,288	15,154,378	14,707,171	15,655,787	13,826,188	13,895,061	8,535,441	9,920,099
	延べ宿泊客	2,012,076	2,064,891	1,963,263	1,852,442	1,963,425	1,965,667	1,960,469	1,340,544	1,761,464
	計	17,362,701	17,528,179	17,117,641	16,559,613	17,619,212	15,791,855	15,855,530	9,875,985	11,681,563
熊本市	延べ日帰り客	3,574,569	3,230,955	3,239,788	2,883,078	3,010,766	3,086,541	2,969,363	2,068,800	2,258,315
	延べ宿泊客	1,907,431	2,096,045	2,228,212	2,345,922	2,430,234	2,479,459	2,637,637	2,531,200	2,759,685
	計	5,482,000	5,327,000	5,468,000	5,229,000	5,441,000	5,566,000	5,607,000	4,600,000	5,018,000
山鹿市	延べ日帰り客	3,372,489	3,268,469	3,453,575	3,508,322	3,535,636	3,603,285	3,757,243	3,629,748	3,662,139
	延べ宿泊客	449,400	309,432	315,653	311,610	288,364	275,387	284,659	314,091	306,569
	計	3,821,889	3,577,901	3,769,228	3,819,932	3,824,000	3,878,672	4,041,902	3,943,839	3,968,708
荒尾・玉名 地域	延べ日帰り客	6,206,357	5,672,115	5,706,481	6,300,729	6,402,594	6,185,595	6,180,630	5,141,321	5,207,688
	延べ宿泊客	297,096	327,161	348,102	319,354	362,290	364,771	390,763	460,302	392,088
	計	6,503,453	5,999,276	6,054,583	6,620,083	6,764,884	6,550,366	6,571,393	5,601,623	5,599,776
八代地域	延べ日帰り客	3,135,838	3,118,480	3,049,101	3,243,123	3,409,204	3,148,283	3,250,711	2,820,534	3,459,551
	延べ宿泊客	199,058	221,916	208,408	226,380	219,419	267,837	273,682	344,412	308,497
	計	3,334,896	3,340,396	3,257,509	3,469,503	3,628,623	3,416,120	3,524,393	3,164,946	3,768,048

地域	区分	平成30年	対前年比
天草地域	延べ宿泊客	690,870	134.4%
阿蘇地域	延べ宿泊客	1,547,238	87.8%
熊本市	延べ宿泊客	3,500,438	126.8%
山鹿市	延べ宿泊客	277,342	90.5%
荒尾・玉名 地域	延べ宿泊客	417,787	106.6%
八代地域	延べ宿泊客	313,973	101.8%

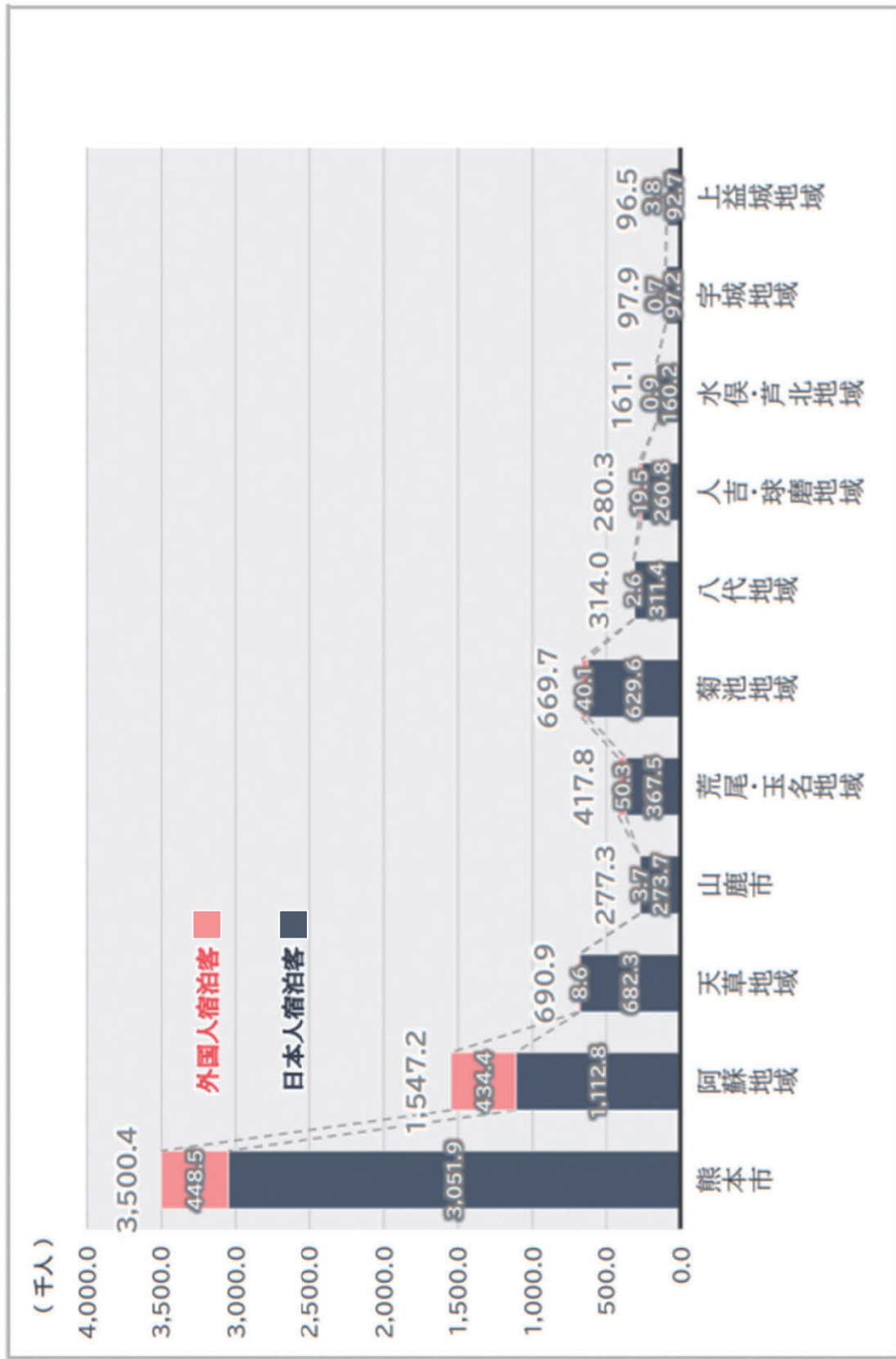
(人) H30年熊本県観光統計

■ 熊本県への観光客数の動向について

H28年の熊本地震以降、観光客数はいずれの方面も緩やかに回復をみせている。その中では宿泊数では被害が大きかった阿蘇地域においては対前年比87.8%と大きく前年割れしている。その前にはH26年は中岳噴火活動に伴い減少傾向となっていたが、それとは比較にならないレベル。熊本市内（126.8%）はインバウンドの取り込みが進み好調、荒尾・玉名地域（106.6%）、八代地域（101.8%）は現状維持。天草地域は134.4%と地震の影響が少なかったこともあり、阿蘇地域の代案としての存在感をみせた。しかしながら阿蘇地域の道路が今後開通していく中で、**世界文化遺産登録も余韻が薄れつつあり、今後の取り込みが課題**である。

天草と他地域への観光客数の推移②

■ 地域別延べ宿泊客数〔年間〕



H30年熊本県観光統計

天草と他地域への観光客数動向

■ 地域別概要

地域	概 要		
天草地域	延べ宿泊客数	690,870 人	対前年増減率 +13.6 %
	うち日本人	682,257 人	対前年増減率 +13.7 %
	うち外国人	8,613 人	対前年増減率 +3.9 %
天草の崎津集落を含む「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録（7月）されたこと等により、前年より全体の宿泊客数が増加した。			
阿蘇地域	延べ宿泊客数	1,547,238 人	対前年増減率 -3.8 %
	うち日本人	1,112,827 人	対前年増減率 -13.0 %
	うち外国人	434,411 人	対前年増減率 +32.0 %
中岳火口周辺の立入規制解除による火口見学の再開や熊本地震で被災した交通インフラの復旧（4月：北登山道〔県道阿蘇公園下野線〕の開通、7月：依山トンネルルート〔県道熊本高森線〕桑鶴大橋復旧）等により外国人客数が増加したものの、復旧工事関係者の減少が一因となり日本人客が減少し、前年より全体の宿泊客数も減少した。			
荒尾・玉名地域	延べ宿泊客数	417,787 人	対前年増減率 +18.7 %
	うち日本人	367,521 人	対前年増減率 +20.9 %
	うち外国人	50,266 人	対前年増減率 +4.5 %
荒尾市を舞台とした映画「オズランド」の公開や、NHK大河ドラマ「いだてん」のクランクインなどで注目が集まり、前年より国内客を中心に宿泊客数が増加した。			
八代地域	延べ宿泊客数	313,973 人	対前年増減率 -0.8 %
	うち日本人	311,364 人	対前年増減率 -0.2 %
	うち外国人	2,609 人	対前年増減率 -39.6 %
熊本地震の復旧工事関係者の減少が一因で日本人客数は微減となり、全体としては前年並みで推移した。			
※外国人客の母集団が少ないため、外国人客の減少が大きくみえる点に留意。			

天草地域内観光施設への入館者数の推移

■天草市 観光客推移

地 区・区 分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	変化
宿泊客数	274,606	275,777	285,441	259,771	280,939	↗
天草市	2,634,702	2,725,007	2,430,468	2,435,737	-	-
総入込客数	2,909,308	3,000,784	2,715,909	2,695,508	-	-

■天草市観光施設 入館者数推移

(人) R1年天草市統計書

資料館別	区分・年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	変化
本郷歴史民俗資料館	無料	10,111	11,304	13,973	9,290	10,054	12,161	9,161	9,121	—
	有料	67,323	64,321	67,169	56,986	51,287	40,306	39,258	39,006	—
天草ロザリオ館	有料	19,290	17,383	16,658	16,765	19,983	24,004	15,814	22,648	↗
天草伝具資料館	有料	9,200	9,894	9,543	9,770	10,738	13,580	9,798	12,922	↗
天草コレジウム館	有料	11,882	13,926	13,636	10,891	12,656	10,077	13,993	13,113	—
御所浦白蓮紀資料館	無料	3,351	2,494	2,232	2,735	3,117	2,606	3,406	2,963	↘
五和歴史民俗資料館	無料	25,279	26,553	14,157	13,335	11,190	12,951	13,565	13,769	—
九しんぶ海影館	無料	-	-	-	-	-	-	-	-	—
新和歴史民俗資料館	無料	51	33	-	30	-	-	-	-	—
倉岳歴史民俗資料館	無料	504	450	444	480	387	363	258	307	—
有明歴史民俗資料館	無料	10,918	14,111	10,962	12,562	12,553	11,646	12,776	11,259	↘
天草文化交流館	無料	-	-	-	-	-	23,405	34,898	65,161	↗
みなと屋(旧28.8.1〜)	無料	157,809	160,575	148,774	132,850	131,855	127,696	118,091	126,410	↗
合 計										↗

(人) R1年天草市統計書

キリシタン資料館管理係



R1年の天草市統計書から、H30年の宿泊者数は+21,168人と好調。入館者数はH29年から30年にかけての数字で+8,319人と堅調。これは熊本地震の影響で阿蘇地域等の振替で微増に転じたものと考えられる。現状、阿蘇地域のインフラや観光施設の復旧工事が続けられている中で、代替観光地としての天草地域は健闘していると考えられる。しかしながら、**阿蘇地域の交通インフラが復活したあとの動きは不透明で、樂觀視できるものではない。**

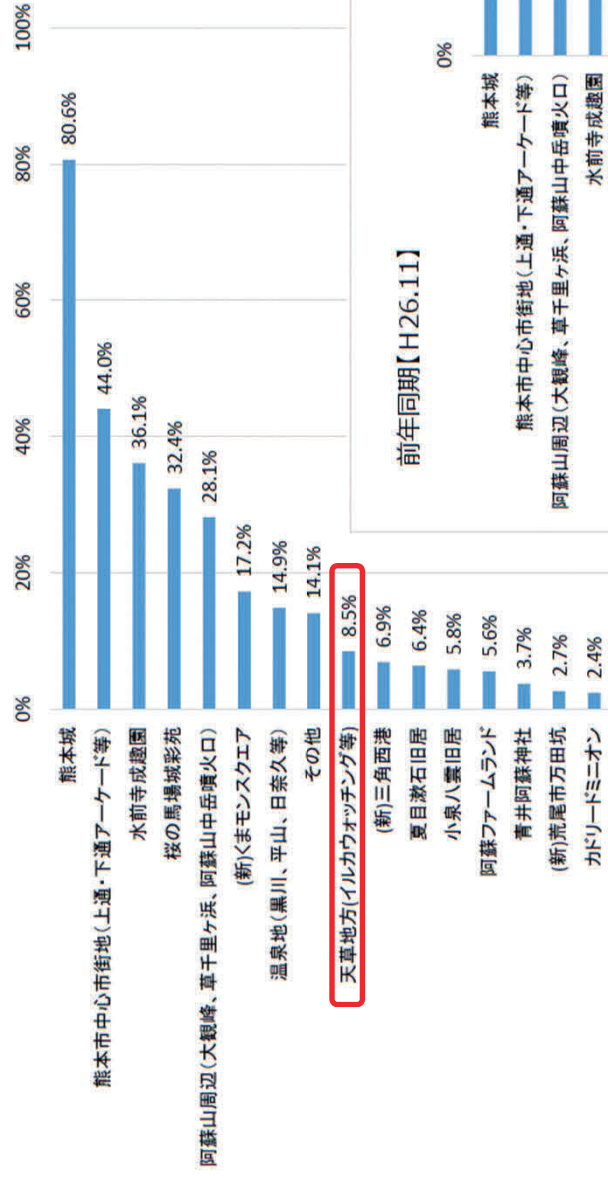
阿蘇地域において期待されるコンテンツは阿蘇山の火口、草千里等広大な自然である。対して現状天草地域で推していきたいコンテンツは崎津を中心とした潜伏キリシタン関連の世界文化遺産関係のコンテンツである。観光施設の入館者数の推移をみたとときに、ロザリオ館、コレジウム館は前年超えをしており、熊本地震の影響を考えてのプラスは健闘。しかしながらキリシタン館においては微減。潜伏キリシタンをテーマとした観光施設の中では不調で、お客様から選ばれていない状況にある。原因として、天草島内での滞在時間が限定される中、崎津集落への来訪者が増加する反面、天草キリシタン館は団体見学コースから外されたためと考える。

来熊者の立ち寄り場所意向調査結果①

■ 今回の旅行での立ち寄り場所（予定含む）



今回(H27.11)



熊本市商工会議所がH27年11月に熊本市内の宿泊者1,500人(回答者数377人)に向け観光客満足度調査を行ったもののうち、今回の旅行での立ち寄り先を聞いたもの。H26年に天草地域が9.6%占めていたものがH27年時は8.5%と1.1%低下している。

なお、旅行者の7割弱がリピーター、そのうちの5割以上が1年以内の再来訪者とのことで、域内にあって天草地域の情報PRを深めることは有効と考えられる。

来熊者の立ち寄り場所意向調査結果②

■ 今回の旅行での立ち寄り場所（予定含む）

行ってみたい熊本県の観光地 1位～20位

第1位	熊本城・熊本城公園	123票	61.50%
第2位	阿蘇山	88票	44%
第3位	天草イルカウォッチング	48票	24%
第3位	黒川温泉	48票	24%
第5位	阿蘇ファームランド	30票	15%
第6位	らくのうマザーズ・阿蘇ミルク牧場	28票	14%
第6位	わくわく海中水族館シーードーナツ（天草）	28票	14%
第8位	阿蘇火山博物館	27票	13.50%
第9位	グリーンランド	22票	11%
第10位	白川水源	21票	10.50%
第10位	平山温泉	21票	10.50%
第12位	水前寺公園（水前寺成趣園）	19票	9.50%
第12位	熊本市動植物園	19票	9.50%
第12位	阿蘇神社	19票	9.50%
第15位	カトリック崎津教会	18票	9%
第16位	御船恐竜博物館	15票	7.50%
第16位	日本一の石段（釈迦院御坂遊歩道）	15票	7.50%
第16位	いだてん大河ドラマ館	15票	7.50%
第19位	阿蘇五岳	14票	7%
第20位	人吉城・人吉城歴史館	12票	6%
第20位	熊本県農業公園カントリーパーク	12票	6%

2019年10月 行ってみたい熊本の観光地 1位～20位くにとりサーチ

7pの調査がH27年以降行われていないため、最新の状況を参考値として、旅行系Webプログラムの「くにとりサーチ」で発表されている「行ってみたい熊本県の観光スポット」を掲載した。

これは2019年10月に全国の男女200名を対象に投票形式でアンケートをとった結果。“獲得票数”と、200名のうち何名が「行ってみたい！」と投票したのかを示す“行ってみたい率”をランキング形式で表示。

20箇所のうち左記のとおり第3位にイルカウォッチング、15位に崎津教会がランキングしたが、他では熊本城、阿蘇の存在感は大きい。

また、**天草市内のキリシタン資料館3館についてはランキング外であり、これらの施設が「発地」において見学候補として意識されていないことがわかる。早急に取り組むべき事項として、3館の連携と情報発信が必要である。**

熊本県内の施設で入館者増に成功している施設の入館者推移とその要因

■熊本市観光施設入園者数

施設名	H28/2016	H29/2017	H30/2018	変化
熊本城 (※H28.5以降はこの丸広場でカウント)	1,444,101	2,072,936	1,704,769	↗
城彩苑	956,173	1,190,246	1,057,151	↗
(うち湧々座)	114,824	113,219	118,520	↗
水前寺成趣園	357,265	429,994	439,466	↗
熊本市動植物園	205,728	288,809	360,709	↗
フードパル熊本	716,400	680,500	667,800	↗
熊本県伝統工芸館	138,889	154,620	154,937	—
熊本県立美術館本館	45,203	107,850	109,377	↗
熊本県立美術館分館	88,823	122,696	204,856	↗
熊本市現代美術館	410,139	235,827	242,665	↗
田原坂西南戦争資料館	55,441	61,940	101,596	↗
植木温泉	113,160	105,051	90,730	↗
道の駅「すいかの里植木」	36,080	233,079	225,336	↗
くまモンスクエア	423,188	492,245	533,459	↗

(人) H30年熊本市観光統計

熊本市観光施設の入場者数の推移を検証すると、H28年は熊本地震の影響を大きく受けて大きく減少している施設が多いが、H29年には多くの施設はいったん増加。しかしながら熊本城、城彩苑はH30年には減少、くまモンスクエアのみ増加と明暗が分かれている。美術館等の施設で増えている状況は熊本県民の利用が復興につれ増えていることが考えられる。

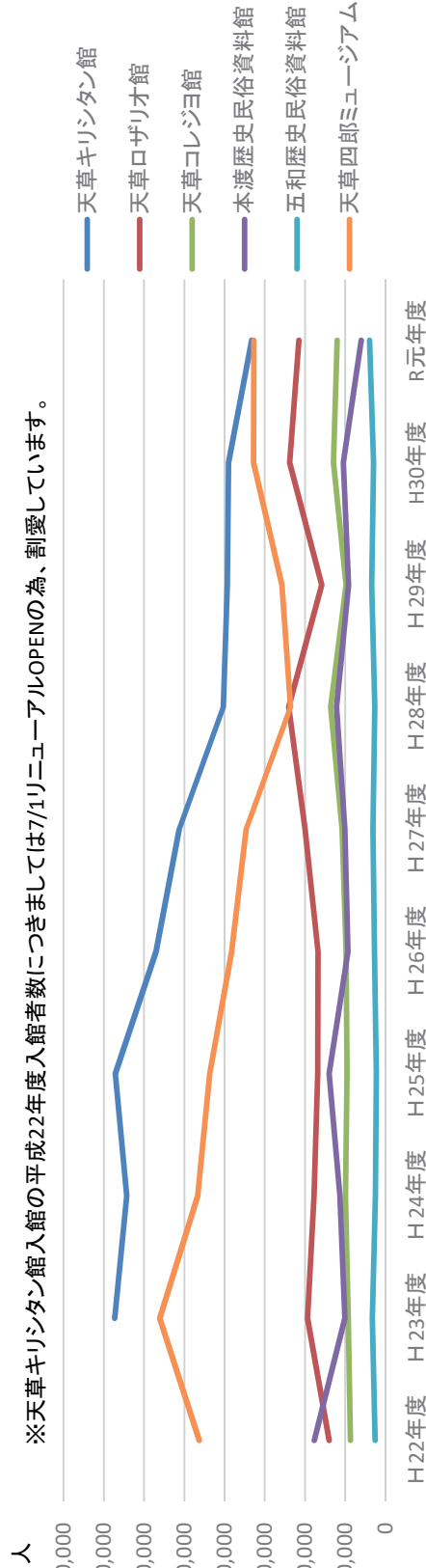
県外、海外からの観光客の受け皿としてのこれらの施設は求心力を失っていると考えられる。

天草島内の展示施設においては、キリスト教系の中学校、高校、大学やキリスト教を主宗教とする国々への情報発信、解説の多言語化により観光客の増加が期待される。



天草地域 各施設の入館者推移

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
天草キリシタン館		67,323	64,321	67,169	56,986	51,287	40,308	39,288	39,008	33,224
天草ロザリオ館	13,961	19,338	17,765	16,808	16,756	19,983	24,004	15,814	23,848	21,478
天草コレジヨ館	8,667	9,243	9,900	9,543	9,770	10,738	13,580	9,798	12,922	12,024
本渡歴史民俗資料館	17,699	10,111	11,304	13,973	9,300	10,054	12,161	9,161	10,486	6,053
五和歴史民俗資料館	2,533	3,251	2,494	2,232	2,735	3,117	2,606	3,408	2,963	3,915
天草四郎ミュージアム	46,313	56,132	46,631	43,678	38,216	34,606	23,612	25,710	32,789	32,733



■ グラフから読み取れる背景（天草キリシタン資料館）

平成28年度の熊本地震後、8/6～12/4の約4カ月間において入館料を無料とした施設は平成28年度はおおむね前年を上回っている（天草四郎ミュージアムは無料期間なし）。しかし翌年の平成29年度は熊本地震前の平成27年度を下回り、再び減少。そして、翌、平成30年度は崎津集落の世界遺産登録の追い風もあり再度増加に転じている。そこで天草キリシタン館のみに注目すれば他の資料館同様に震災後、無料としたにも関わらず平成28年度は減少が見られ、また世界遺産登録年においても辛うじて前年実績を維持、令和元年度まで見れば減少に歯止めがかからない状況である。令和元年度の実績からは天草キリシタン資料館全体としても世界遺産効果が薄れ減少に転じている。平成25年度以降の減少率と5ページ資料にある平成24年以降の天草市への観光客数の推移を鑑みると天草市を訪れても入館しない来訪者の存在が伺える。しかし**天草キリシタン館の平成23～25年度の入館者数から他施設と比較しても、そのポテンシャルが高いことは表れており、昨今の減少傾向についてはリピーターの減少が要因の一つである。天草キリシタン資料館（天草キリシタン館、天草コレジヨ館、天草ロザリオ館）を見ても世界遺産効果で来館されたお客様がリピーターとならず、一元客で終わっている。今後、リピーター獲得に向けた常設展示の更新や特別展の開催が必要である。**

キリシタン資料館管理係

天草市キリシタン資料館入館者減少の原因についての考察

■ 資料から読み取れる背景

ここ10年の推移を検証する上では、H28年4月の熊本地震に注意すべき。H27年とH29年、H30年(数字が無いところもあるが)との比較で検証すべきと考える。震災から営業再開が出来ておらず、まだ道半ばの観光地・施設ももちろんある中で、いち早く再開し、観光客数をH27年以上に伸ばしている施設・観光地もあるので、地震の風評被害で数字が落ちていると考えるのは難しい。となれば、他の条件があったり入場者数の減少につながっていると考ええるべきである。

■ 入館者減少の原因考察 (概論)

■ 旅行形態の変化・外的要因

施設の団体・個人の入込比率にも関わってくるところもあるものの、全国的な傾向として多くの旅行会社を取り扱う旅行の形態が団体旅行メインであったところから、ニーズの変化により個人旅行へシフトしていることから、団体の入込数が徐々に減少していることがあげられる。

入込の減少に対し、個人旅行商品について各施設のシフトがうまく進まず、個人旅行者の獲得が出来ていないことが考えられる。これまではそれなりのコンテンツでも団体の送客があったものの、個人旅行にシフトした結果、個人のニーズに合わない施設(コンテンツ)が出てきている可能性がある。

また、震災影響により、人の流れに変化が起きている(天草の注目)があっているものの、初期のニーズに合わない施設はコンテンツの充実度合いによって選ばれない可能性も高まり、明暗が分かれる状況になっている。

また、今後は阿蘇への交通インフラが復活していくことから、西(長崎)⇨東(阿蘇・大分)へのルートが復活。人の流れが変わることによる天草地域への交流人口が減少する懸念がある。

■ 個々の施設の運営状況

入館者が増加している箇所では、二次交通の便がよい、旅行会社向けの団体から個人へのシフト対策が出来ている、コンテンツの充実、スタッフ等の対応等施設のクオリティが高い、SNSへのアップ度合いが高く、口コミ効果が効いているなど、個々の施設により入館者増となる理由が明確であることが多い。入館者が減少している場合は「コンテンツ」「スタッフの対応方法」「施設の利便性や環境」「効果的な情報発信の手法」に課題があることが考えられる。

■ 天草市キリシタン資料館入館者減少の原因 (仮説)

天草市キリシタン資料館においては外的要因としては阿蘇から天草へのシフト、世界文化遺産登録などがあり、増加しうる可能性がある。しかしながら、現状の数字では減少傾向にあり、これは入場者増につながっている施設の取り組み、つまり**団体から個人へのシフトの取込、旅行会社の商品への採用活動推進、施設の高品質なコンテンツのPR浸透、二次交通と組み合わせた商品の展開拡大、といった課題の検証・解決が必要と考えられる。**

キリシタン資料館管理係

■入館者を増やす為の2つの条件

①情報発信と仕組みづくり（旅マエ）

絶対条件として天草市キリシタン館を知っていただくこと（知らないところには行かない）。

来館までの入込動線の拡大、旅行会社へのバック商品の提供などの誘客の為の仕組みづくり。

②お客様対応のスキルの向上（旅ナカ）

お客様が期待していることをスタッフ一人一人が理解し、その期待を超えること。お客様に感動を与えること。

■条件を満たす為に必要なこと

①情報が溢れてる現在では、パンフレットやWEBへの単なる掲載に留まらず、「どのようなものがあるのか」、それにより「どのようなことを知ることが出来るのか」を意識した情報を発地側である「旅マエ」であるお客様や旅行会社へきちんと伝えることが絶対条件となる。またそれを世界文化遺産である「崎津集落」や関連施設と絡めた情報発信を行うなどタイムリーで且つ旬な情報と合わせ発信することでより有効なものとなる。また、例えばバスや航空機などの交通機関と入館をセットにしたバック商品を旅行会社への提供するなど積極的な誘客の仕組みづくりが必要。その際に重要なことは単に商品を提供するだけでなく旅行会社が求めることやタイミミングを押さえた商品提供が前提となる。

〈旅行会社が求めること（一例）〉

・付加価値の提供・利益の確保・ハンドリング業務や精算業務の軽減・観光プラットフォームによるワンストップサービスの提供など

②「お客様が期待していることは何か」を明確にし、それに対応する為の人材育成、スキルアップの取り組みが前提条件。一般的に資料館や博物館を来訪するお客様は知識欲の高い層であり、その期待とは来館したからこそ得られる知識の習得や体験による「特別感」であると考察する。

〈お客様の期待に応える為にすべきこと〉

・来館者しなれば得ることが出来ない体験の提供。触れる、感じるなどの「体験」の提供。
・人（スタッフ）が介在し、生の言葉で直接お客様へ説明すること。特別感。 など

■運営組織についての考察

入館者増を目指すにはスタッフ一人一人が現状を把握し、危機感を持ち、それを共有すること。また「人材の育成」「スキル+マナーリ化、脆弱性が「入館者の減少」という結果を招いている大きな原因の一つではないか。**指定管理も含めた運営組織自体の体質の改善、見直しが必要と考察する。**

■天草市キリシタン資料館 入館者数増員戦略

入館者数増を目指し、施設運営のみではなく、**接客対応のしべルアップ・関連施設を含めた企画商品の提案・営業・誘客・集客のしくみ**での積極的な指定管理者制度の展開を検討。

【①入込動線・着地商品・周遊動線】

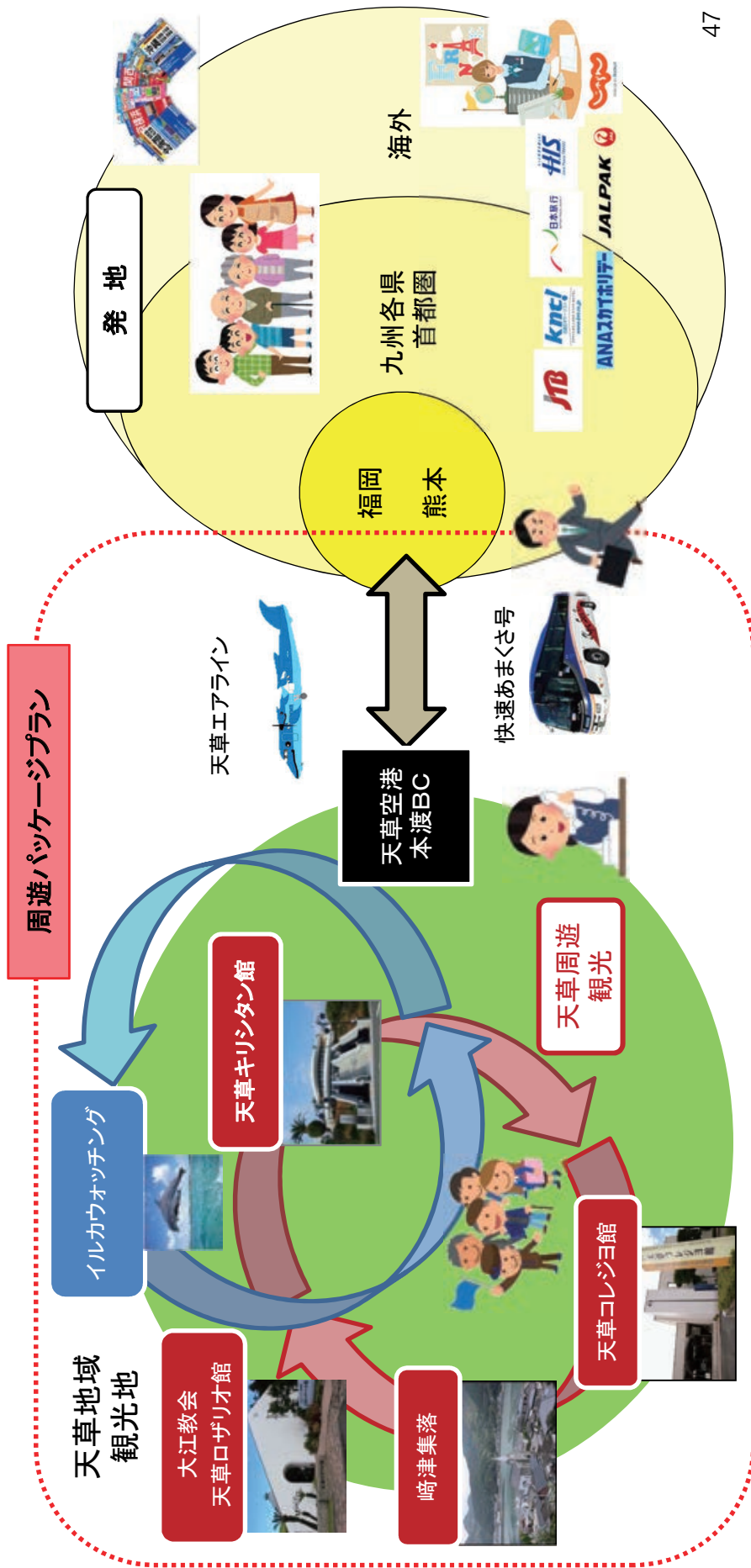
天草市への入込動線の拡充を図り、各観光施設をまとめた「周遊パッケージプラン」を作成。

【②発地戦略】

造成した商品を発地側の販売網に対する営業活動の実施。

【③施設サービスの向上】

入館者満足度の向上、リピーター獲得の為の施設サービス向上の取り組み。



天草市キリシタン資料館展示等課題抽出



天草キリシタン館
天草コレジヨ館
天草ロザリオ館

令和2年3月31日

文化課キリシタン資料館管理係

第1章 天草市キリシタン資料館 課題抽出の前提

現在、天草市内にはキリシタン文化を伝える貴重な資料を展示する施設として、天草キリシタン館・天草コレジヨ館・天草ロザリオ館の3館があります。

近年では「天草の崎津集落」がユネスコ世界遺産の構成資産として登録されたことやイルカウォッチングへの人気から、天草観光への注目が高まる要素はありながらも、天草キリシタン館・天草コレジヨ館・天草ロザリオ館の3館の入館者数を見る限り、現在は旅行者の需要を充分に取り込むことができていない状況にあるといえます。

そこで、3館でアンケート調査や聞き取り調査を行うとともに展示施設企画担当者が現地調査を行うことで、現状を客観的に分析し課題を抽出しました。

1-1 天草キリシタン館の現状と課題

天草キリシタン館では、平成30年（2018年）に来館者アンケートを実施し、以下の各項目について調査しました。また館のスタッフや展示施設企画担当者の見解も交え、主要な意見を集約すると以下の通りとなります。

①組織・運営に関する現状と課題

- ・ 観光集客が脆弱であり地域振興への寄与が少ない
- ・ 文化振興・教育振興に寄与する専門職員が不在
- ・ 3館の運営や組織に連携がなく、他館への回遊性が見込めない
- ・ 1階にチケット売場と休憩があり、展示室が2階のため人員配置に検討が必要
- ・ 外国語表記等、外国人への対応が不十分
- ・ 1階2階にある映像コンテンツの内容や運営に関して検討が必要
- ・ 映像展示から見るか、常設展示から見るか見学動線に関する整理が必要
- ・ 他のキリシタン関連施設の紹介や回遊を促すしかけも必要

②施設・管理に関する現状と課題

- ・ 館の立地上、アクセスしにくい位置にあるため、より多くの利用を促すには誘導サイン等の整備が必要
- ・ 駐車場の位置がわかりにくく、館の入口への誘導がわかりにくい
- ・ 2階ロビーと映像展示室に壁面等が無いため、解説音声の錯綜がある

③資料・展示に関する現状と課題

- ・ 展示室が全体的に暗く、展示解説が読みにくい
- ・ 見学導線上に小さな障壁があり、見学に支障がある
- ・ 見学動線がわかりにくい
- ・ 「天草・島原の乱」の映像が古く、内容は年表中心で動きが少なく、上映時間も長い
ため、魅力的な展示とは言えない
- ・ 原城に立てこもった人や天草四郎の人間的な情報が少なく、なぜ立てこもったのか
その時戦った人たちはどう思っていたのかなどの奥行きが感じられない
- ・ 2階に企画展示を行うスペースがなく、新たな展示が難しい
- ・ 「天草の現在」は1階休憩コーナーの方が回遊性の上でも良いのではないかと
感じる
- ・ 展示解説が専門的でわかりにくい部分もある
- ・ 展示資料・収蔵資料の整理・確認が必要

④情報・発信に関する現状と課題

- ・ 周辺の関連施設や観光施設に関する案内も充実させたい
- ・ 図書類に関してもゆっくり読めるスペースが必要
- ・ 館を訪問する前に情報を得るためのホームページの充実と更新が必要
- ・ SNS等を用いた情報発信も積極的に活用すべき

1-2 天草コレジヨ館の現状と課題

天草コレジヨ館でも、館スタッフや実習を行った学生達からの意見をもとに課題抽出を行いました。さらに展示施設企画担当者の見解も交え、主要な意見を集約すると以下の通りとなります。

①組織・運営に関する現状と課題

- ・ 観光集客が脆弱であり地域振興への寄与が少ない
- ・ 文化振興・教育振興に寄与する専門職員が不在
- ・ 3館の運営や組織に連携がなく、他館への回遊性が見込めない
- ・ 外国語表記等、外国人への対応が不十分
- ・ 他のキリシタン関連施設の紹介や回遊を促すしかけも必要

②施設・管理に関する現状と課題

- ・ 建物外観が展示施設に見えない
- ・ 「天草コレジヨ館」という館名は意味が難解で、展示内容が想起できない
- ・ バス専用の駐車場がなく団体客を招致しにくい
- ・ 2階の「郷土の先達展示」や「世界平和大使 人形の館」への誘導や各展示室の位置づけも整理すべき

③資料・展示に関する現状と課題

- ・ 天草地区の歴史ばかりで日本全体の歴史の情報がないため、日本の歴史上、天草とコレジヨが果たした役割がわかりにくい
- ・ 展示内容が他の天草キリシタン資料館と重複している情報も多く、「天草コレジヨ館」としてのテーマ性を明確にすべき
- ・ 南蛮文化の象徴とも言える「グーテンベルグ印刷機」や「楽器類」の展示が静的で、貴重な資料が充分活用されているとはいえない
- ・ ラテン語・哲学・神学等を教える「コレジヨ」に関する説明が少ない。また4人の少年が果たした日本文化と南蛮文化との交流情報も少なく、当時の天草が果たした役割が伝わりにくい
- ・ 映像が古く色あせもあり見にくい。また所要時間が長い（約20分）
- ・ 「イソポの宝箱」展示は天草キリシタン資料と無関係。導線上にこの空間規模で展示することで、天草キリシタンの印象に齟齬を来している
- ・ 展示解説の文章が専門的でわかりにくい部分もある
- ・ 展示資料・収蔵資料の整理・確認が必要

④情報・発信に関する現状と課題

- ・ 周辺の関連施設や観光施設に関する案内も充実させて欲しい
- ・ 図録等、館の展示内容を説明する資料が必要
- ・ 館に訪問する前に情報を得るためのホームページの充実と更新が必要
- ・ SNS等を用いた情報発信も積極的に活用すべき

1-3 天草ロザリオ館の現状と課題

天草ロザリオ館でも、館スタッフや実習を行った学生達からの意見をもとに課題抽出を行いました。さらに展示施設企画担当者の見解も交え、主要な意見を集約すると以下の通りとなります。

①組織・運営に関する現状と課題

- ・ 観光集客が脆弱であり地域振興への寄与が少ない
- ・ 文化振興・教育振興に寄与する専門職員が不在
- ・ 3館の運営や組織に連携がなく、他館への回遊性が見込めない
- ・ 外国語表記等、外国人への対応が不十分
- ・ 他のキリシタン関連施設の紹介や回遊を促すしかけも必要

②施設・管理に関する現状と課題

- ・ 建物外観が展示施設に見えない
- ・ 「天草ロザリオ館」という館名はロザリオの意味が一般的でなく、キリシタン関連の展示施設であることが想起できない
- ・ 別館への動線に「扉と階段」があるため、誘導が難しい

③資料・展示に関する現状と課題

- ・ 展示内容が他の天草キリシタン資料館と重複している情報も多く、「天草ロザリオ館」としてのテーマ性を明確にすべき
- ・ 映像ホールの位置と動線があいまいで、わかりにくい。また映像展示の内容も、テーマにあわせて再構成すべき
- ・ 各展示ゾーン内の展示構成が整理されておらず、時代が錯綜している部分もある
- ・ ロザリオ館だけに再現されている「隠れ部屋」の資料的な価値を、もっと丁寧に説明すべき
- ・ 潜伏キリシタンの日常的な暮らしや、仏教や神道との共生の情報も提供すべき
- ・ 別館の展示内容は「五足の靴」「玩具」「大江天主堂模型」が混在し、伝えたいテーマがわからない
- ・ 別館は面積が広い上動線も複雑なので、常設展示室としては使わない方が望ましい
- ・ 「玩具資料館」は展示内容が天草キリシタン文化と全く異なる
- ・ 展示資料・収蔵資料の整理・確認が必要

④情報・発信に関する現状と課題

- ・ 周辺の関連施設や観光施設に関する案内も充実させたい
- ・ 図録等、館の展示内容を説明する資料が必要
- ・ 館に訪問する前に情報を得るためのホームページの充実と更新が必要
- ・ SNS等を用いた情報発信も積極的に活用すべき

1-4 3館個別運営に関する現状と課題

現在、天草キリシタン館・天草コレジヨ館・天草ロザリオ館の3館は、それぞれ天草市に伝わるキリシタン文化をテーマにした展示施設でありながら、天草市合併前からの管理運営システムのもとに個別の体制で展示公開を続けています。

そのために3館で展示情報や展示物の重複がある一方、3館ともに代表的な展示物や個別展示テーマを設定していないために、展示で伝えたいことが不明瞭で「次に別の館を見て回ろう」との回遊動機を誘発できていません。

また、開館からの時間の中で、計画的な展示更新や調査研究活動が行われてこなかったことから、3館とも展示物や映像コンテンツのソフト及びハードの老朽化が進んでいます。

そして、各施設での展示資料や収蔵資料の調査研究・整理分類も行われていません。

3館に共通する「組織・運営」「施設・管理」「資料・展示」「情報・発信」に関する課題を抽出すると以下ようになります。

① 3館共通の組織・運営に関する現状と課題

- ・ 3館が別々の管理運営体制になっており、互いの連携・連絡体制がない
- ・ 展示更新や企画展開催等に関する連絡協議等もない
- ・ 3館ともに集客を促す取り組みがない
- ・ 3館ともに他館への回遊性を促す仕組みがない

② 3館共通の施設・管理に関する現状と課題

- ・ 外観からキリシタン資料の展示施設に見えない
- ・ 外観やサインに関する共通性がない

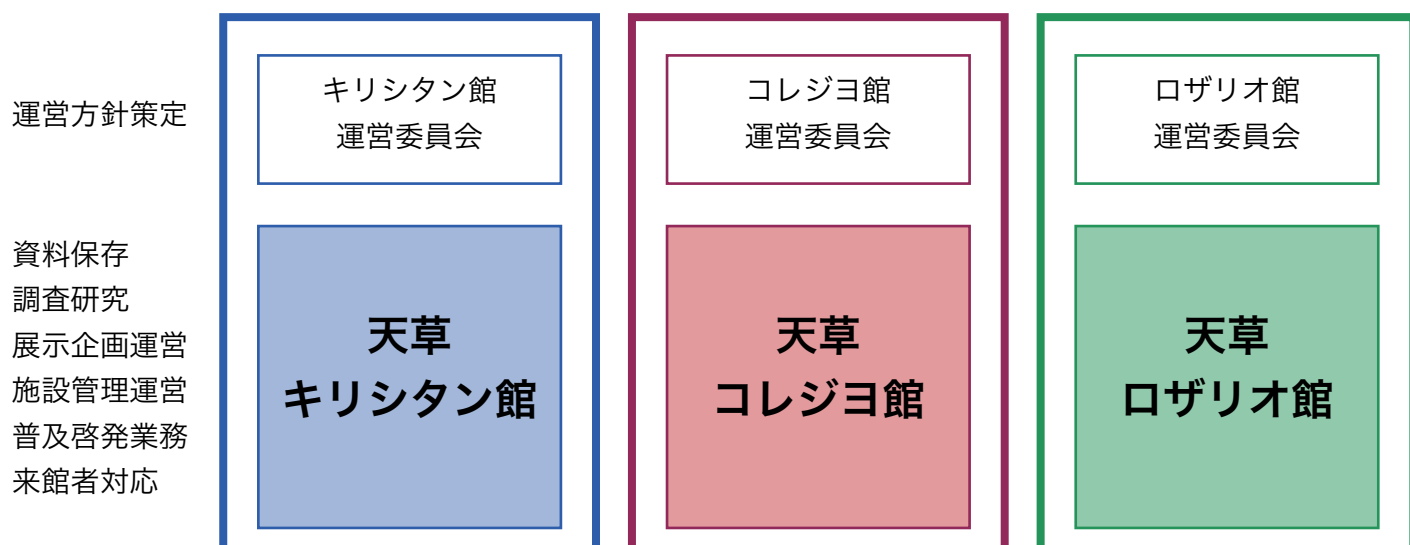
③ 3館共通の資料・展示に関する現状と課題

- ・ 開館時から常設展示に大きな更新がされておらず、情報解説や映像コンテンツが古くなっている
- ・ 天草キリシタン文化に直接関係のない展示コーナーや展示物が増えているため、館の展示テーマや代表的な展示がわかりにくい
- ・ 展示テーマにあわせて3館の展示構成を見直し、展示物の重複を解消すべき
- ・ そのために3館全体の展示資料・収蔵資料の整理・確認とリスト化が必要

④ 3館共通の情報・発信に関する現状と課題

- ・ 3館共通の情報発信手段（3館の広告、共通サイン、総合パンフレット、解説資料、インターネット上での3館のポータルサイト等）
- ・ 3館の共通デザインによるWebサイト
- ・ 3館に関する図書閲覧コーナー
- ・ 各施設における関連施設マップ

【現状の管理運営体制】



■管理運営上の課題

1. 各施設個別の運営方針に基づいて運営が行われている
2. そのため展示内容や展示物に重複が多数見られる
3. 各施設の展示テーマが不明瞭のために回遊性を誘発できていない
4. そもそも3館ともに集客や回遊性を運営計画に盛り込めていない



**3館がバラバラの運営体制のために
価値の高い展示を多くの人に見ていただく機会を損失しています。**

【3館を活性化させるための課題整理】

- ① 3館の設置目的と果たすべき役割の明確化が必要
- ② 効率的な管理運営と高品位のサービス提供のための組織の検証が必要
- ③ 施設管理のための長寿命化計画策定と展示改修が必要
- ④ 収蔵資料の検証・台帳確認、寄託資料の確認と資料整理が必要
- ⑤ 各館の図録作成と特別展の開催および館情報の整理と計画的な発信が必要

こうした課題を解決するには、3館個別の課題を解決することはもちろん、3館と世界遺産・崎津集落展示施設「崎津みなと屋」を加え、4施設を一元的に捉え管理運営していく体制を構築することが特に有効です。

天草市キリシタン資料館 年報
(天草キリシタン館・天草コレジヨ館・天草ロザリオ館)
No.1 【2019 年度】

編集・発行 天草市立天草キリシタン館 TEL0969-22-3845
〒863-0017
熊本県天草市船之尾町19-52

天草市立天草コレジヨ館 TEL0969-76-0388
〒863-1215
熊本県天草市河浦町白木河内175-13

天草市立天草ロザリオ館 TEL0969-42-5229
〒863-2801
熊本県天草市天草町大江1749

発行日 2020年6月22日

印刷 イナガキ印刷
〒863-0021
熊本県天草市港町13-20



天草キリシタン館玄関の花
（ 熊本県立天草拓心高等学校本渡校舎生活科学科より ）
毎年2回の寄贈を頂いています